

## 市民と野党の共同で安倍政権退陣を！ 6・19しまね総がかり集会



しまね総がかり行動実行委員会は、通常国会の閉会に伴い、6月19日（金）18：00から松江テルサ前広場で集会を行い、コロナ禍だからこそ、憲法が守られ、生かされる社会の実現を訴えました。集会では、横断幕やプラカードでスタンディングアピールを行いながら、医療と教育現場、野党4党からリレートーク。コロナ禍でもみんなで知恵を出し合い、野党と市民の共同をいっそう広げ、9条改憲を止めさせるためにも、安倍内閣を退陣させようと呼びかけました。この緊急集会には50名が集まりました。



### 開会挨拶 島根大学人の会 関耕平さん

学生のアンケート調査で、6人から7人に一人は、退学や休学を考えなければいけない



という深刻な状況が明らかになりました。こういう学生達を救って安心して学べるような環境をつくる。これが憲法が定めていることです。しかし、安倍政権は、コロナ対策と称して、緊急事態状況で改憲をしようとしている危機的な状況にあると思います。何としても憲法を守って、コロナ危機だからこそ、平和的生存権、幸福追求権を守らせる政府をつくっていかねばいけないと思います。野党4党の方々しっかりと結集、団結していただいて、安倍政権を出来るだけ早く退陣に追い込んで、安心して生活できる社会をともにつくっていかねばと思います。



**看護師 景山康子さん**

救急外来の最前線で働いている看護師に聞きますと、危険との隣り合わせで、家族や患者様にうつすんじゃないかと、何とも言えない不安を抱えながら、働いておられます。医療従事者だけでなく、すべての国民のいのちと健康を守るために、現場の職員の思いであるとか、こう

して欲しいという気持ちを政府が聞く耳をもってほしいと思います。



**小学校教師 内藤武志さん**

学校というところで密を防ぐには限界があります。島根県は少人数学級見直しを予定通り2021年度から実施するといっていますが、せめて現行通りで進めるべきでないかと思います。子ども達の安全・安心のため、施設、人手、環境、内容も本当にゆとりのある教育を実現する

ことができるよう、そういう世の中になることを願っています。



**立憲民主党 角智子さん**

皆さんの不安に寄り添う施策を打ち出していくのが本来の政治ではないかと思っております。国民の声を全く聞かない、国民の生活に寄り添わない今の安倍政権にこのまま政治を任せてはいけないと私たちは思っています。安倍政権の不誠実な政治のあり方に

しっかりと声を上げて、みなさんとこれからも一緒になって、安倍政権の退陣に向けて力をあわせていきましょう。



**国民民主党 森本秀歳さん**

今回のコロナ騒動の中でいわれなき誹謗中傷というのが大きくクローズアップされました。冷静に立ち止まって、人権というものをもう一度考えていかなければならないのかなと思っています。

政治の世界、いろんな課題が山積しております。ニュースや色々な報道に関心を寄せていただければと思っています。



**日本共産党 尾村利成さん**

今回の新型コロナウイルスによって、今の日本の社会のひずみというのがはっきりしたと思います。大企業の利益優先、社会保障の切り捨て、儲かればいい、効率化最優先という、新自由主義が破たんしたではありませんか。国民のくらし第1の政治へと、憲法生かす政治へと、みんなが力を合わせて、頑張りぬこうではありませんか。



**社会民主党 芦原康江さん**

安倍政権には、一刻も早く退陣せよと、それしか言うことがありません。

医療、福祉の体制準備、拡充を図り、人の命が守れる、憲法が守れるそういう社会につくりなおしていかなければなりません。そのためにも、皆様とともに、力を合わせて

追求し続けていきたいと思っています。



**まとめ**

**島根大学人の会 三宅孝之さん**

今の状況は、総がかりが安保関連法の廃止を目指した時の状況と合わせながら考えると、大変教訓的なことを物語っていると思います。内閣で決定をして、ごり押しで法律を通す。そして、なんとかこれでやっていける。憲法9条を空洞化するようなことをやる。この手法を今回も学ぼうとして悪くみをしたわけです。あらゆることが今の安倍内閣の中で矛盾と破綻をきたしているわけです。文春オンラインの緊急アンケートで「安倍晋三内閣を支持しますか？」という問いに、支持するが21.6%、支持しないが78.4%という結果になりました。国民はよく見えています。今この時期に、憲法の基本的な平

和条項に沿った日本を切り開くために、安倍内閣に退陣を求めるような団結の輪を広げていこうではありませんか。様々な方法で、この集会のことを伝え合うということが大変重要です。そして、またここに集うときには、安倍退陣とともに、日本国憲法にそった新しい状況を島根でも作り上げる経験を持ち寄って、さらに大きなたたかいを進めていきたいと思っています。